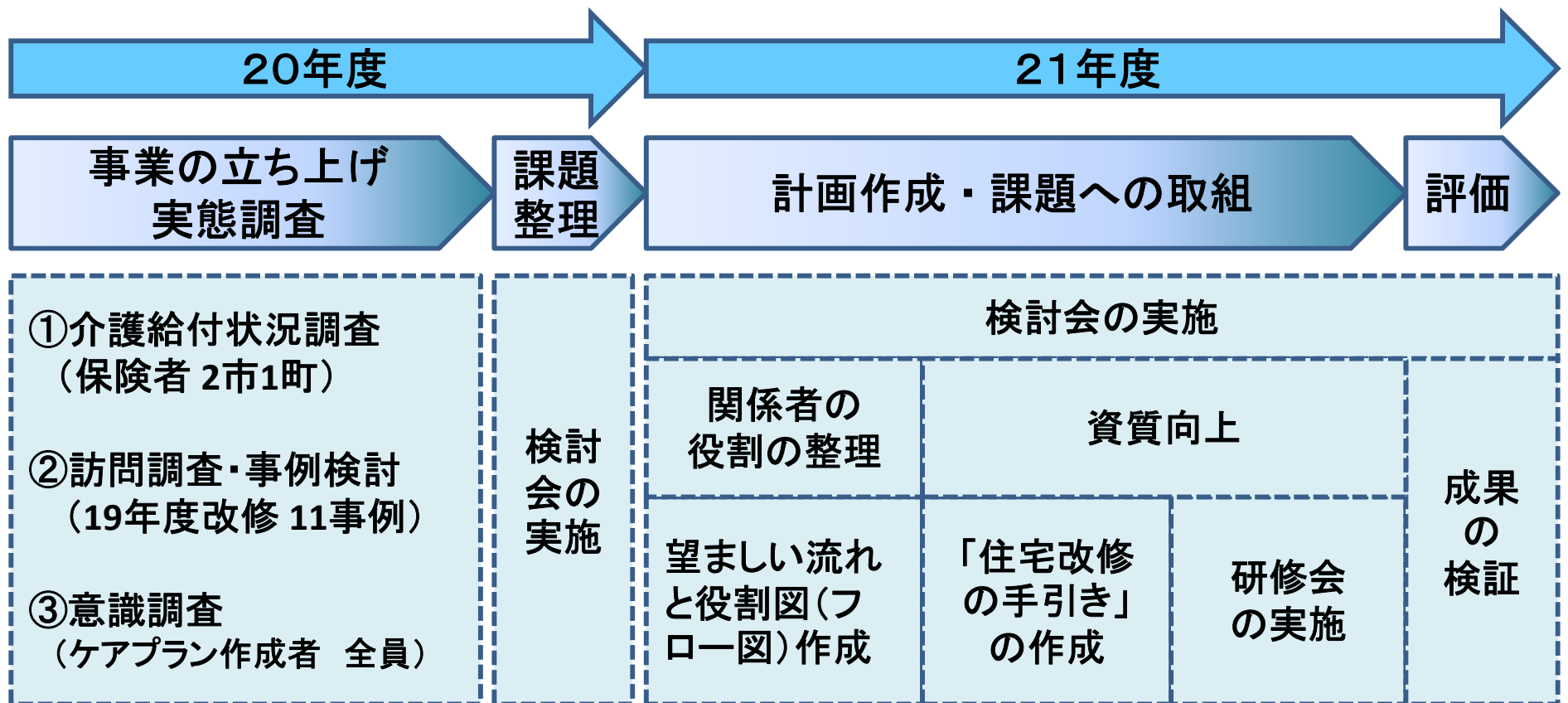


介護保険制度を利用した 住宅改修の課題と取り組み

宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所
技師・高橋秀典
H23. 2. 3(木)

🏠 事業の目的とスケジュール

- 事業名：石巻圏域高齢者障害者住宅改修支援事業
- 目的：高齢者等の個別の身体状況に応じた住宅改修サービス提供のために必要な対策の実施
- スケジュール



住宅改修の現状とその背景 (実態調査より)

現状

① 次のいずれかに該当

- 1) 改修した手すり等
を使っていない
- 2) 手すり等が必要ない
- 3) 身体状況への配慮に疑問
(訪問調査)

61%

② 「理由書」記載
内容の矛盾・
不十分なアセス
メント(訪問調査)

③ リハ専門
職の関与なし(訪問調査)

64%

④ 施工者が
本人家族の
知人・親戚
(訪問・意識調査)

8~9割

⑤ 住宅改修支援の
研修を受けたこと
がない
(意識調査)

65%

⑧ 住宅改修支援で
困ったことがある
(意識調査)

59%

困っている内容
1) 施工者の書類不備
2) 施工者が手順をふまない

⑦ 他のサービスに比べ
取り組みにくい
(意識調査)

45%

⑥ 住宅改修支援は
業務ではない
・わからない (意識調査)

43%

背景

ケアプラン作成者・施工者・
保険者が障害者や高齢者
に対して実施する住宅改修
の理解が不十分(研修の
機会が少ない)・・・①③⑤

ケアプラン作成者が
十分なアセスメント
をしないまま、ある
いは、できないまま
進行・・・①②④⑤

「理由書」確認が
不十分な保険者
がある(保険者
の役割を果たしてい
ない)・・・①

施工前の現地確認
訪問をしていない
保険者がある
・・・①②

ケアプラン作成者・
施工者・保険者が
一緒に改修案を検討
していない・・・①⑦

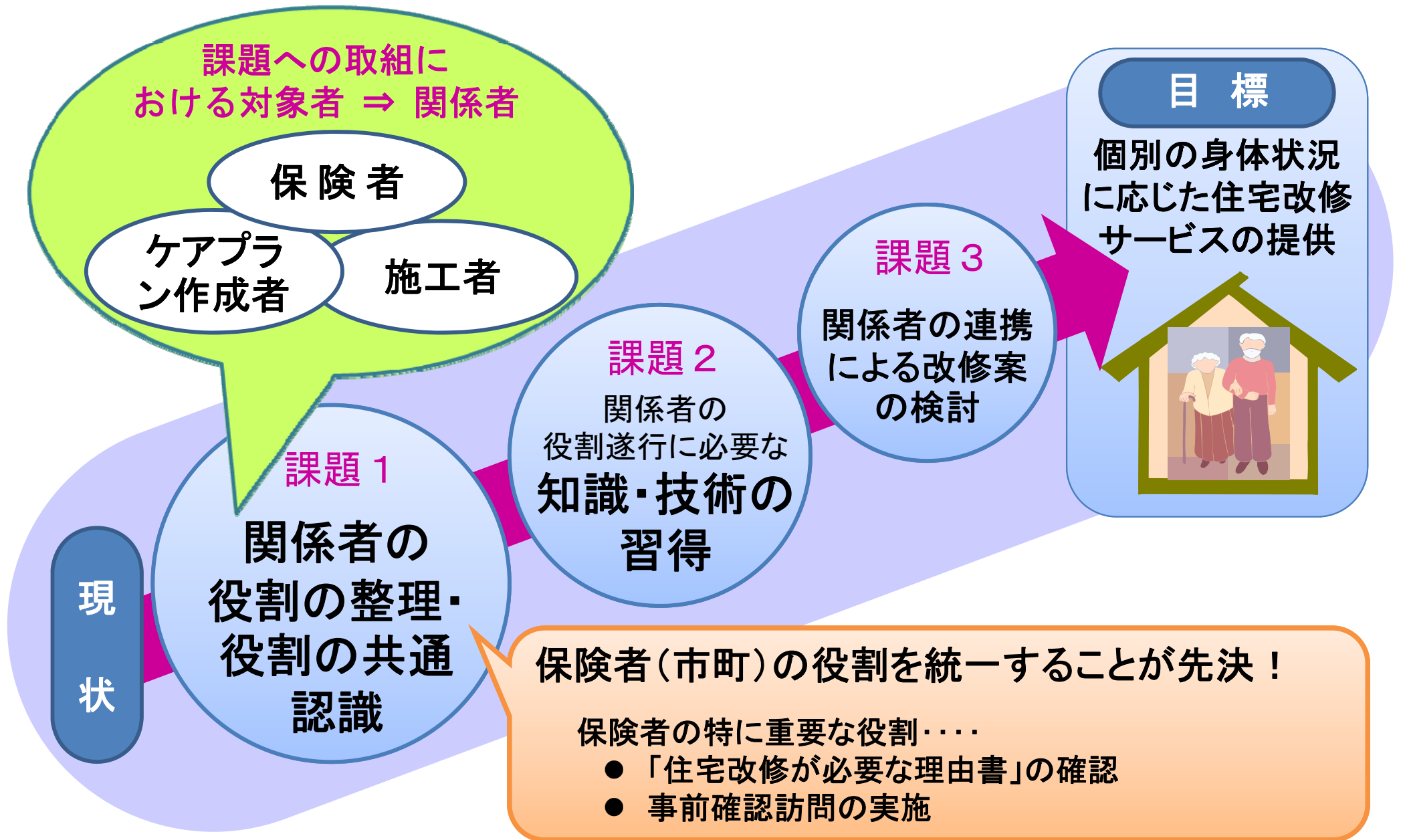
ケアプラン作
成者の役割
が曖昧・・・⑥⑦

保険者の役割が統
一されていない、ま
たは曖昧(現地確認訪問
がない保険者あり)・・・⑦⑧

施工者への制度の
周知の機会が少ない
(施工者は介護保険制度の
内容を知らない)・・・⑦⑧



目標達成への課題と対象者





課題への取組と協力団体等

課題への取組

課題
2

関係者の
資質向上
支援



研修会の実施 ①保険者・
ケアマネジャー向け ②施工者向け



「住宅改修の手引き」
の作成

課題
1・3

関係者の
役割の
整理



望ましい流れと役割図の
作成(フロー図の作成)

協力団体等

保険者(市町)

- A市 介護保険課
- B市 福祉課
- C町 健康福祉課

ケアプラン作成者の
団体等

- 宮城県ケアマネ
ジャー協会石巻支部
- 各市町の地域包括
支援センター

施工者の団体

- 宮城県建築士事務
所協会石巻支部
- 広域石巻住宅改善
センター

その他の団体

- 宮城県理学療法士
会三陸ブロック



フロー図の作成

添付資料参照

作成の手順



作成のポイント

保険者の役割の統一

望ましい流れと共に
関係者の役割を整理

特に重要な役割の
明示（太枠表示）

🏠 手引きの作成

添付資料参照

● 作成の手順



● 作成のポイント

関係者向けの
マニュアル的な内容

制度を掲載
(施工者に制度を
わかってもらうため)

**図面への据付位置の
書き方を掲載**
(身体状況に応じた改修
の位置確認のため)

フロー図を掲載
(関係者の役割の
共通認識・連携のため)

手引きの主な内容

- ① 「住宅改修費支給」
制度
- ② 申請書類 作成要領
- ③ フロー図
- ④ 苦情相談窓口



研修会の実施

研修内容	対象事業所 (対象事業所数)	事業所単位の参加率			
		包括 (11)	居宅 (48)	市町 〔含む支所〕 (9)	施工者 (242)
ケアプラン作成者・保険者研修会 1 (1)住宅改修の現状(調査報告) (2)住宅改修が必要な理由書作成のポイント (3)座談会(研修会終了後、市町担当を対象に実施)		73%	65%	78%	—
ケアプラン作成者・保険者研修会 2 2会場で実施 (1)ADL研修 (2)「住宅改修の手引き(試作版)」に関するご連絡とお願い (3)「住宅改修の手引き」の内容と関係者の役割 (4)住宅改修の基礎知識		82%	49%	78%	—
施工者研修会 (1)介護保険制度を利用した住宅改修 ①住宅改修の現状と課題(調査報告) ②「住宅改修の手引き」の内容と関係者の役割 (2)高齢者の住宅改修に必要な基礎知識		—	—	—	23%

※ 包括:地域包括支援センター、居宅:居宅介護支援事業所

※ 施工者の対象事業所数は、市町から提供いただいた介護保険制度の住宅改修歴のある事業所

取組結果



保険者の事務処理の統一化

- 理由書の確認
- 事前確認訪問の実施



役割の整理・明確化及び連携の強化

- フロー図の作成



住宅改修制度の普及・啓発

- 「住宅改修の手引き」の作成



住宅改修関係者の資質向上

- 高齢者の自立支援に向けた「気づき」の提供
- お互いの専門分野に係る知識の習得 ⇒ 個別の身体状況に応じた質の高い改修を行うために必要な技術の習得



利用者の個別の身体状況に応じた改修となるために必要なこと

1. 保険者の体制

- ①保険者による審査機能の充実(理由書の確認、事前確認訪問)
- ②ケアプラン作成者、施工者など関係者への情報提供
- ③住宅改修を進めていく上でのトラブル、相談等への対応

2. 住宅改修の関係職種間の専門性と役割の理解

相手と自身の役割を明確にする

3. 知識の習得

〈ケアプラン作成者〉

マネジメント能力＋住宅改修の基礎的な知識の習得

〈施工者〉

介護保険で実施する住宅改修の知識〈技術＋介護保険制度〉の習得

4. 連携

保険者・ケアプラン作成者・施工者による住宅改修のための検討